

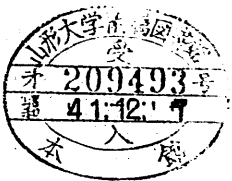
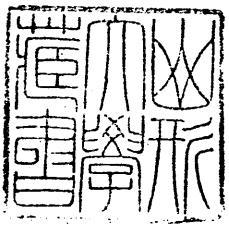
箕谷童子問評林

全

419
S 2
1-11



佐々間森郎氏寄贈



勘者御伽雙紙
算法童子問

評林

最上流 會田篁左衛門安明編



凡算書乃乃丹隨下云今記算書之
幼多法伽双紙算法童子問乃二書之
法伽双紙之書ハ實深之至幸洛陽中根
深之算法船ノ編所乃ノ中根子々々
以各言算全乃ノ中乃ノ利々々々

美談を面白く作る也——故母を可く
又童子問之書を其門人村井中郎が
安永乃末丹編纂しけり漂匠丹し
と美丹の句りし故丹性名は法親
師を人々く——其歌乃作念を寄し
と今月味丹才小書題目乃度量衡

とを受やうと云ふ——然るに
と取道乃廣記けり和名二橋
書とくとも又一二乃誤くあるに
事能く成故丹予を誤くは
浦し一書とありと名之西書
乃評林と云小子言此書誤ん

だんてうきをうけをたへや誰とていふとてうき又栄田
 理奎の書にわたりて阿是の個目を見たりかしていふうき
 葉乃術とてうきや葉乃術の書にうきとて三京とて葉
 乃事は度より生や二京とて術の幻記とて書れたる
 もとて葉乃術とてうきとて三京とは度より生やうき
 とてうきとてイサナとて叶やとて是とて又葉乃術と
 乃事とてうきとて葉乃術とてうきとて葉乃術とて

新曰凡乃伐卯文又葦乃殺三とかけで内流乃殺を以て
葦乃伐を文と掛るを引索と生是を桃乃殺と掛
て四と生とかけと文又凡乃伐卯文又桃乃殺と掛内流乃

殺すは桃乃代を文を排するに引余り子半是より茄子乃殺
三を排して茄子と半を減殺すると六加減乃殺遍約兩より依之
各等殺すに除く加殺を八より減殺九と差剩一兩より依て
版殺ハを得る又此乃他少文乃内凡乃殺すといひ引餘より
茄子乃殺すと桃乃殺ハと錢乃殺九百二十とかけ二万二千
〇四十と半是を五より九等殺すに際て四千六百〇八と半（兼金位より）
（ちち考ハ）差殺
うより是より版殺ハをかけて三万六千八百六十とある是は減殺
引きつる時宜とあるかく乃とくよりハ茄子是あり殺九と折
して茄子乃殺とするなり是より加殺ハを排て七十二とある是は太
四年六百〇八の内より引餘る四千六百三十九とあるは減殺の九を除く

<table border="1"> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>桃</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table> </td> <td> <table border="1"> <tr> <td>桃</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<table border="1"> <tr> <td>桃</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table>	桃	代	殺	代	<table border="1"> <tr> <td>桃</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table>	桃	代	殺	代	右
<table border="1"> <tr> <td>桃</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table>	桃	代	殺	代	<table border="1"> <tr> <td>桃</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table>	桃	代	殺	代		
桃	代										
殺	代										
桃	代										
殺	代										
<table border="1"> <tr> <td>茄</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table>	茄	代	殺	代	<table border="1"> <tr> <td>茄</td> <td>代</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>代</td> </tr> </table>	茄	代	殺	代		
茄	代										
殺	代										
茄	代										
殺	代										
左											
<table border="1"> <tr> <td>代</td> <td>錢</td> </tr> <tr> <td>代</td> <td>錢</td> </tr> </table>	代	錢	代	錢	<table border="1"> <tr> <td>代</td> <td>錢</td> </tr> <tr> <td>殺</td> <td>錢</td> </tr> </table>	代	錢	殺	錢		
代	錢										
代	錢										
代	錢										
殺	錢										
甲											

此ノ如クニテ

右	二百七十七
左	三百二十一
甲	二万八千八百

刺一術得左一百七十段減余二十五乘茄殺得二百五十也

術曰秬穀相乘內減秬價
秬穀相乘名右秬價
相乘內減秬價
相乘

名左依剩一術得左_{七十}乘_元價_殺差及九百六十盈右減之余

乘茄救得茄總救合問

劫者所加双纸卷之中

九一
合者知味乃中

たゞ一尺強七分五厘五分指三二二九分五厘六分
七指八七分五厘とあるに算合入るべき者也と

善云食

法曰大乃想限目七分五厘又十寸八分四釐又三九及
七厘又六抄等盤一付にて至時三粒七と集めて麻をばねて
餅一つとなし又七粒又七分五厘と等盤一付にて至時粒
九とあるれは海子に投じて餅一丁半是れより食ふとい散り
多敷く煮事なげるとい同散りゆゑなるよめを二合入米を

たとひ金七百八匁五厘は是より金一匁より付八斗七匁五厘
釐の差六百八匁七厘七斗五匁四厘に付算合たる也云々と問

法由金言乃七角ハ控五と算盤一けたより金合九一と
ある九ははるゝ控て餘る二つを九より金又二五が控ハ斗
七角あり金と算盤二桁より金合九斗と金九ははるゝ控て
餘る二つとあるは二つより九より金ハる二と拂れた六と金
と九ははるゝ控て別より金又七角ハ控七斗と金と算盤二桁
より金合三十三とある九ははるゝ控七斗と金ハる六とある

たふしきふくし七間、横二千四百乃坪、穀五千二百九十八坪あり、計算合たりとや之をやと曰

法云畧之

たつ月詔を費八百七拾六匁三十八人より分付る人
付置給ふ三匁つとあり余抄に六下ぬけ算合たりやと合ふ

法云未界之

たとへ積二万八千七百三十九寸と平方一尺四寸三厘

差曰合

法曰求畧之

大合者乃法ハ諸算邊ハ吃味乃上よりやむとて得る
水ハ外より度試むる法あり一概にはつむるも之合
とのまゝありとてしる

評曰右合否算ハ甚ニキ邪術ナリ用エベキ術ニアラス
假令讀ム人ナリ。三十。トヨム片甲ノ人ハ六十若ヘシノ
人ハ六十ト答ヘ兩ノ人ハ六百ト答ヘ下ノ人ハ六十ト答
フ片本書ノ術ニ因テ各九ニ滿ルハ棄テ各六ヲ得ルナリ
此ノ如キ片ハ各合算ナリト云ハ子ハ十ヲ不宣各合算ナ
リシヤ只獨リシノ人ノミ合算ニシテ其他甲内下ノ三人
ハ皆不合ナリ豈此ノ如キ術アラシヤ此則虚題ニシテ
邪術ナリト知ルヘシ

勘者沙伽双紙卷之下

十九 刺賊算乃事

右より一入坂ノ刺賊をまゐる人ありて冥抄ハ字多敷
紙ハ六ふ乃後を思てあつふに極りある算士より此を
取しかば即買かりと言ふに言ふをかけ得殺をたゞ玉又
多敷紙の言ふをいふをかけ得殺をたゞ玉又合て法に
て五紙を刺ハ因法とあるをたゞ玉たるに掛也を冥抄ハ
永まへをりあり又たゞ玉たるに因法を掛也を多敷紙乃
永まへをりありといひしを各とて法をいふに
又それ一算士乃紙ハ冥抄ハ言ふをいふに掛りて

得殺せられ玉又多敷泥乃言又そ引乃言を付けて得殺
せられ玉又多敷泥乃言として思ふ言乃内多敷泥乃引砂を
刺ハ因法とあるをたれ玉なるも柳て是を羅拂り乃言局
して引ハ砂更にそれまゝとる也又たれ玉なるも因法
を柳て是とて取泥乃言乃内とて引ハ砂とてとる
まゝとる也初乃乃泥ハ遠方とてとる也又
とてとる也一ハ人むとてとる也初乃乃泥ハ
乃乃砂を括りて一ハ予是を按ずるも取泥乃言
疎りて是とて及ぶ所ハ何とて無術也即初乃乃泥ハ
て取泥乃言とて及ぶ所取泥乃言及て信言とてとる也

とて又後乃泥ハ初て取泥乃言とて及ぶ所取泥乃言
方及て信方とて取泥乃言とて及ぶ所取泥乃言
とて及ぶ所入て取泥乃言とて及ぶ所取泥乃言
とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所
とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所
とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所

たれ玉又多敷泥乃言とて及ぶ所取泥乃言
とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所

答曰
とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所とて及ぶ所

たれ玉又多敷泥乃言とて及ぶ所取泥乃言

ハ利ヲ加ヘルノ理ナリ故ニ一箇五分ヲ以テ取銀ハ来シ
 ノ其割合ノ親高トス即チ買掛ハ其終ニテ親トシテ此ヲ
 合セテ法トノ親高トス即チ買掛ハ其終ニテ親トシテ此ヲ
 其請取ベキ銀ヲ得ルベキ銀ヲ得ルハ又買掛ノ親高ニ乘
 其請取ベキ銀ヲ得ルベキ銀ヲ得ルハ又買掛ノ親高ニ乘
 イハシヤ反テ借シ方ヨリ銀ヲ出スハ尚無キナリ中
 根子ハ其親高ヲ知ラズ元銀ト比テ見ルニハ假如ハ五
 ル石ノ村高ニテ七石ノ組合高割ト云モノアリ左スレハ外
 百石ノ村高ニテ七石ノ組合高割ト云モノアリ左スレハ外
 村ニ此レハ常ニ勤ムルトイハレハ共スル
 アタハズ此則古來ヨリ勤メ来ルノ役高ナレハ組合高割ト
 モ此理ニ等シ分割ヲ以テ役高ヲ定メ而シテ組合高割ト
 見ル片ハ理ニ送フアルヘカウサレハ大坂ノ今又次ニ
 考ル処初ノ術ハ真術ニシテ後ノ術ハ邪術ナリ今又次ニ
 題術ヲ改メ記ス
 今有テ取銀三十五貫目買懸六十五貫目取之則買懸四分
 手取銀六分也以銀若干取之則問各取銀幾何

答曰如左

取銀四十七貫目

四分二十六貫目

取銀九十四貫目

六分五十一貫目

取銀九貫九百目

六分五十二貫目

術曰置手取銀六分以四分除之各子加買懸銀以除取銀
 名率乘子為六分取銀置買懸銀乘率為四分取銀合問

算法童子問卷之一

十一 雞狗章魚乃中

厨下と窺へ八座之鶏あり狗あり又砧板章魚あり庖人
 加四三種合ふ二十箇是れ穀合ふ百〇二是れ鶏狗章魚
 各幾何と問 但鶏二隻狗
 四隻章魚八隻

差五	狗十三疋	鶏十三羽	章魚八枚
狗十二疋	鶏七羽	章魚五枚	
差五	狗十二疋	鶏五羽	章魚四枚
狗十八疋	鶏三羽	章魚三枚	
狗九疋	鶏一羽	章魚一枚	

右何止も是殺百非も合はば是之○鶏鬼等三種増
たふを即ち辯法か下一をさうさうと云ふ殺か凡そ
一種と定ふといふはさうさう又鶏鬼等三種は同く似たるを
以て鶏鬼は殺て用ひしうとて誤ある非なりか
よそ殺も生殺熟殺乃三種あり其の熟殺は下み
月也といふ法に互約逆約乃別とよみて約をて熟殺
殺とあるはたとひ無後か後必焼るといふに又ハ
等問と辯法はく一に地を成隔るゝもの故に先輩が題
則知別題の辯法ありと云ふは然らずとて是を辨
する事一詳ありと云ふもよく察しざるなり

評曰此題中二三種合せて二十箇ト云モノハ書矣ヤリ二十箇ト云ノ四ノ字ヲ失せり又曰ノ布ニ尋化カアト云モノ

二四	左	游八	游四
一二	右	五二	五四
三六	天	六二	于四
合矩	荆	合矩	

二四	左	八	四
一二	右	三	四
三六	天	百三	二四
合矩剩		合矩	

題ハ石可ナリ此題ナルモノハ窮管ノ
 意ニエテ題辭備リ着ニ是ニ辭ヲ
 添ル片ハ病題トナルベシ又曰若救
 カクノコトニ一種定メラヌ如何様ニナ
 ルト云モ一ハ在ニ乱レテ定ラサル云
 フベシ此題ハ窮管ノ題意ナレハ變救
 アルモ亦宜ナリ其變救ニモ限リアリ
 アルモ不若シ此題變スル件救ヲ同片ハ少
 ラカク又曰生救熟救ノ論益ナリ又
 疑法ハ関孝和ノ編ム所ニシテ明ラ
 不ヘキモノニアラズ今此題買救
 變救アル片在ニ乱ルモ

今有鷄狗章魚合八箇足救合二十七足也但鷄二足狗四足章魚七足也問各幾何

術曰七足内減四足名左四足内減二足名右列八箇乘四内
 減足和二十七名天依兼一術得左一乘蒲右減之得章魚一
 枚而得各合問

章魚一枚 鷄四羽 狗三足

十六 濶路方程

例年霜月乃物系より盛るるを乃は神をたふ大して
 まつ所を依方たれとふまづして倍細に配るる
 由みかんの点いとらうとて童男二十四人童女十二人
 へみかんの〇三とりうや九と童男十人童女九人
 たりう人より幾つ定あらうとて

童男一人はみかんの二 ひとり二
 童女一人はみかんの一 ひとり一

術

童女	童男	みかん	とり
十二人	三十八人	百二十八	八十八

右

二組五邑

今童男童女ノミハシヨリミルヨリハ四邑ニ配
只云童男ノ統ハ童女ノ統ノミハシヨリハ四邑ニ配
人ノ七十ヨリハ四邑ニ配ハシヨリハ四邑ニ配
女ノ統ハ人ノ統ノミハシヨリハ四邑ニ配
九十一ノハ人ノ統ノミハシヨリハ四邑ニ配

童男ノ統ノミハシヨリハ四邑ニ配
童女ノ統ノミハシヨリハ四邑ニ配

左右

右	左
九十一	百九十一
百〇二	百〇二
五十九	五十九
百〇三	百〇三
十九	十九
二十九	二十九

男	女
九十一	百九十一
百〇二	百〇二
五十九	五十九
百〇三	百〇三
十九	十九
二十九	二十九

術曰以只云童女各乘又云件々以又云童女各乘只云件々
而相減得童男法及又云實以法各除實得童男一人配教合
問

十七 三七の差乃事

今足計九百九十八是故甲乙丙丁ノ四人ノ三七
差とて配する所と乃く何程と

甲乙丙丁ノ四人ノ三七 乙丙丁ノ三人ノ三七
差

丙丁ノ二人ノ三七 丁ノ一人ノ三七

術三箇段各自意して七丁ノ書法とす二十七段七
段要し之を除て六丁乃書法とす六丁之を去て五
丁ト三ノ除て七丁乃書法とす五丁之を去て四
丁ト三ノ除て七丁乃書法とす四丁之を去て三
丁ト三ノ除て七丁乃書法とす三丁之を去て二
丁ト三ノ除て七丁乃書法とす二丁之を去て一
丁ト三ノ除て七丁乃書法とす一丁之を去て

乙乃時ハ
 三張乙乃裏法ト一七張甲乃裏法ト一七七合して
 十張法ト一甲乙丙三人乃時ハ三張自一七九丙乃
 裏法ト一七張乙乃裏法ト一七張甲乃裏法ト一七
 二十一張至七張乙乃裏法ト一七張甲乃裏法ト一七
 十九張九張法ト一
 乙乃外四六乃張乙乃裏法ト一七張甲乃裏法ト一七
 到姑蘇有人求三七張乙乃裏法ト一七張甲乃裏法ト一七
 裏分之万一と人ハ一乃張乙乃裏法ト一七張甲乃裏法ト一七
 合するところハ

評曰此條三七ノ差ト云ミノヲ見レハ逐テ七分之二ト云フ
 十リ今予カ術ヲ施ス片ハ左ノ如シ

術曰置七再自之名甲率^{三乘}七除名乙率^{三乘}七除名丙率^{三乘}七除名丁
 率各併之以除有餘名應率以乘甲丙丁率得各合問

又曰三七ノ差ヲ以テ配分スル時各何ホト問ト云モノ
 ハ明ラカナラズ乃レ差七分之二ト云モノト逐テ七分之二
 三ト云モノハ其理同レカラズ是ハ同レカラザルニ只
 三七ノ差ト云バカリニテハ余リバツトシタル辭ナリ

九

いふにふるきしを殺せしむる代に金と沙と
 是れより一厘沙とあるに人溺乃稱千金溺といふ之
 沙より少くとも人溺乃稱千金と云

吳端毅公

權術並有乃福にん玉大端乃移ん除けを
盤乃けた乃殺し候ありそすあり端乃かすん

紙二万九千中二下と注ありて又割つ
てると紙の注ありて寸みやかゝる人殺と云ふ

差人叙口人

權術前と云ふなり。故に問ふ之

評曰此術面白キ作意ナリ去リナカウ通術ニハアラス若
シ其分ヲ七分之三ナド、分母子ヲ以テ云フ片ハ行レズ
故ニ滞術ナリ今爰ニ其題ヲ擧グ此術ヲコ、ロミテ滞術
ナルヲ知ルベシ
今有銀九千二百八十目配分之不知其人殺逐七分之三
也頭取銀五千四百八十八文問得速人殺術如何

答曰人數四人

術曰頭銀名甲

三乘七除

名乙

三乘七除

名丙

逐如此

列有銀內併減甲

乙丙丁

減盡則止之也

以其減件殺為人殺合問

十九 割賊算乃事

度橋先生乃云負言百貫目乃内買拂り銀十五貫目ハ
四ノ千取限云然其貫目ハ六ノ千乃取算月と云ふ二
兩にノ千取限四兩七貫目より五ノ千と云ふと云ふ
と知屋一と云ふ又云人ノ云四ノ千七貫目依違ト一
貫目と云ふ少れハ沙伽菓子に化ヤル其乃内買拂り
ハ是より五ノ千ハ後乃術法用ヤベト云ふ術問答之
たとへば乃の原言ニ千取限九貫目乃目ある時其乃術法
用以下 四ノ千乃方 五貫目乃方云ふ云々ト云
六ノ千乃方 四貫目乃方云ふ云々ト云

又右乃原言主極限九拾四費目何る時ハ後乃術代用て
 四ノ乃方 六拾費五百八拾四九ノ下
 六ノ乃方 三十二費四百十五ノ九ノ下
 極限四拾七費目乃時をかり、味ある後乃術を用
 て合あり 味乃負殺

六ノ乃方 六拾費目と味とす
 四ノ乃方 六拾費目と味とす
 七ノ乃方 六拾費目と味とす
 二ノ乃方 六拾費目と味とす
 右乃原言主極限九拾四費目何る時ハ後乃術代用て

評曰村井子ノ論大ル処甚差ヘリ凡算法ハ至直ノモノ也
 何ア二術ヲ用エルノ理アラシヤ天理自然ノ術アルモノ
 十ノ乃方 六拾費目と味とす
 四ノ乃方 六拾費目と味とす
 分ヲ取ルヲ六拾費目と味とす
 六ノ乃方 六拾費目と味とす
 高ニ應ニテ割合フ可ヲ四分六分ノ割ト云ナリ右童子
 問ニ記ス処甚差ヘリ左ニ記ス

元六十五費目
 四ノ乃方 六十〇費五百八十四ノ九分一釐
 是ハ九ノ上三厘二毛〇七五三五ノ極ヲ得タリ

元三十五費目
 六ノ乃方 三十三費四百一十五ノ〇九釐
 是ハ九ノ上五厘四毛七ノ極ヲ得タリ
 右四分ノ方ノ極九ノ上三厘二毛余ヲ以テ六分ノ方ノ極九
 ノ上五厘四毛余ヲ除キ一ケ〇二厘四毛三余ヲ得ルナリ
 如キノ割合ハ四分六分トハ云フベカラズ是ニテハ四

辛卯年

御甲村乃涉取込よりハ甲ハ八村乃才一より加又
一と至草元六と至定元八を加一休意又十と加
十二費取よりと得〇乙村ハ才二と至草元六休意
定元八に加二休意十と加つて才費又取得より

己	辰	卯	寅	丑	子		許日此題ハ分合拓差術ナリ然レモ拓差法ハ其術種々ニ變レテ答殺一變也又右術ヲ見レハ平差六正定差八正直差一十正ヲ求メテ是用工タリ今亦立平定一三差ヲ用エル片ハ別術トナルナリ即真答殺左ノ如シ
〇〇 <small>四八五 四八五</small>	三十二 <small>五十六 三十二</small>	十六 <small>四十六 十六</small>	四 <small>五十六 四</small>	四 <small>五十六 四</small>	七十四 <small>二十四 三</small>	初級	
二 <small>一七 二</small>	六十一 <small>九十九 六十一</small>	二十四 <small>六十三 二十四</small>	五百十二 <small>六十四 五百十二</small>	四百〇五 <small>二十七 四百〇五</small>	九 <small>三 九</small>	次級	
	六一 <small>三 六一</small>	三 <small>十五 三</small>	八 <small>六十四 八</small>	五 <small>十五 五</small>	一 <small>三 一</small>	三級	
			八 <small>六十四 八</small>	一十五 <small>五十四 一十五</small>	三 <small>二 三</small>	四級	
庚三百五十七 <small>四百四十六 四百一十三</small>	己二百七十二 <small>四百四十六 一百一十七</small>	戊百九十四 <small>四百四十六 一百一十七</small>	丁百三十九 <small>二百二十三 一百一十二</small>	丙九十一 <small>四百四十六 三百八十三</small>	乙五十一 <small>四百四十六 四百二十九</small>	甲二十二 <small>四百四十六 一百一十七</small>	

案ハ二五又あそふ一 刻座一 拓差漸々

已初商
立差

卯初商
立差
平差

子初商
立差
平差
定差

立差四百八十五
正

平差九千〇九十六
正

定差四万九千三百九十三
正

約法二千六百七十六

辛四百五十八

此余王亦種々ノ答殺アリ故
ニ在題ナリ恒々題ヲ補ベシ
乃請用有定平三差答之ト云
フ十字ヲ加フベシ

十三 系除整殺乃事

たとひ三ふ六厘八と四系二忽一微して一箇を除き其直
二二〇三と七系七忽八微系一又七と四と四と五厘
三と六系三忽一十除けを何程と

差一八八と一厘七と六系〇二微系

形を差除乃殺大乃下一尾殺ふを改高短ふ
とろりぬる系除乃殺と整一と形乃定率と
月や五とをその短し

本形一云一箇改至二千八百と系ト一万沙千と
乃所殺とを以て除けを知て是公重約形と云

評曰本書ノ如クニ万二千八百ヲ乗シ一万二千五百四十
 四ヲ以テ除クト云モノハ甚不可ナリ是ニテハ乗除ノ教
 三分三七七 商一箇 二過乗アリ都テ約術ヲ用ユル過ハ過
 三分六八四二 六〇二 乗ヲ省カント欲スル力故ナリ過有
 四分五三六三 余 ンヤ直チニ題意ノ如ク乗除シテ得ベシ
 今其過乗ヲ省ク片ハ一千四百二十有五ヲ乗シ七百八十四
 除シテ其商ヲ得ルナリ此即零約術ニ因テ得ッヘキ也豈
 此ノ如キ算題ヲ重約術ト名ルノ理アルヤ都テ諸算書
 二環リニ術名ヲ唱スルモノアリ見レバ信ヲ用シカキモ
 多シト知ルハ又日答ノ教ヲ見レバ信ヲ用シカキモ
 于其下ハ合ハス
 三分三七七 商一箇八一七六〇一七三〇三三三六一七余
 二分六七三八八三

十三 乃ろろ

今一万七千五百開平ノ除けも之をあり是を何教
 を意たふも之を何ノ開ろやと問

是七改意ベ

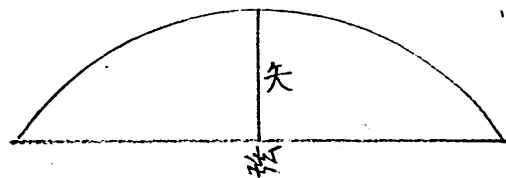
則曰物術ニ依之とセと依得たり内セと云て是
 教とすベ

評曰此術ヲ見レバ自約術ニ依テ五ト七ト得ルト云フ
 フモノハ不可ナリ五箇ニ次七箇一次ヲ得ルト云フ
 其次教ヲ求ムルモノを要用アリ五ト七ト得ルモノ
 七箇一次ヲ得タリ故ニ二次乗率トスルモノハ棄テ只七箇一
 次ヲ用ヘ而シテ乗率トスルナリ本書ノ如ク其内七ヲ取
 テ答教トスベシト云モノ不可ナリ其取教ハ定ニヨルモ
 アリ又但教ニヨルハシト云モノ不可ナリ

ノニハアラス乃レ通術アレバナリ村井中漸ハ自約術ノ
 本旨ヲ知ラズレテ猥リニコレカ答術トナスモノナリ即
 ス予カ通術ヲ如シ
 術曰覆一百七十五自約之得五箇二次滿二次者棄之得
 七箇一次為乘救若得一次作合問
 一七箇次為乘救若得一次作合問

算法童子問追加

弧背密術



今有圓闕弦八寸矢二寸問弧背幾何

答曰弧背九寸二分七釐二毫九絲弱半

術曰弦卑七段矢卑二段徑弦相乘一百一十三段三宗
 相併以周率三百一十五乘之為實倍矢以減弦餘
 一百一十六之加徑三百一十五段以徑率一百一乘
 之為法除實得弧背

此術得真
救五位

周率圓率乃真也ト考テ宋乃祖冲之ト云人

密法を開き圓を二丈としてその圓周三丈一尺一寸一
 分五厘九毫二抄七忽を盈殺と一丈三寸一尺一寸一分五
 厘二抄六忽を盈殺とす盈ハ少後ちの圓にたふぬの圓
 周真殺乃二をハ七忽と六忽との間よりきりて之を圓
 一を二十三角とて之を圓ハ三角ありとて之を密率と
 云ふ又圓率とあるを其圓周ハ二十二とて之を密率と云
 ふるも下り書と誤解と云隋志冲之が子が子祖子が子よりが子
 東州東州公則公則より公則出出なりなり一と誤解と云あり方以智
通雅

評曰此術ハ密術ニハアラズ略術ナリ乃レ徑一百一十三
 大圓三百五十五ト云モハ密法ニハアラズ纔ニ七位合
 スルノミナリ此ヲ用ル術ナレバ密術ニアラザルヲ知
 ルベシ乃真術ハ予カ著ス算法古今通覽ニアリ

附問

不盡一用

假令置一算以法殺若干除之遂為不盡一周乃如除十
 位為一問得其位殺術三者以七
 周也

此算題既見于彥循先生竿頭算法京人著開承尾張
 人著算髓各設答術解之當時視以為是終置不再論
 予退閑之閒承涉干誕算髓失約均之不得其解惜哉
 先生沒偶矢其稿予亦拙且老矣庶四方博雅幸有續
 狗尾可謂藝苑盛事矣故今復標舊題叩其一端以
 備諸益之雅云

評曰此題ハ中根彦循カ編ム所ノ竿頭算法ニ見ヘタリ其
 答術池部清真カ著ス所ノ開蒙算法ニ見ヘタリ然レ其
 術誕ニ涉リ用エルニ足ラズ又山本格安カ著ス所ノ算
 ニモ見ヘタリ然レ其標ニ答術ヲ請フトナリ予梅スルニ格
 璣算法卷之一自約門ノ第三ハ其答術ニ格璣モ亦用エル
 リ然レ其答術ノ如キハ甚誤シ其答術ニ格璣モ亦用エル
 ニ足ラズ故ニ予今其術ヲ施スルニ左ノ如シニ格璣モ亦用エル
 ナキ片ハ術意明ラカナラズ故ニ今其術ヲ用ヘ通術ヲ施
 スル左ノ如シ

今置一箇以法救二万八千四百三十四億六十零二十四万
 九千二百零一箇除之遂為不尽一周乃如除一十三者問得
 其位救術

答曰全商一周位救一億九千二百一十一万九千二百
 零二位

術曰以法數除一箇指點之得其位數合問

又解術

術曰置法救自約之得一十三箇次二十三箇次一十一箇次
 九箇次而依術求三箇一周六位三箇一周二十二位一箇五
 次一周二万九千二百八十二位先求一十一箇一周二位來
 九箇次一周六千五百六十一位先求九箇一周二位而依齊
 約術得全商一周位救合問

以一箇除一箇得商	一箇
以二箇除一箇得商	五分
以三箇除一箇得商	三分三三三三三
以四箇除一箇得商	二分五
以五箇除一箇得商	二分
以六箇除一箇得商	一分六六六六六六六

以七箇除一箇得商	一分四二八五七一四二八五七
以八箇除一箇得商	一分二五
以九箇除一箇得商	一分一一一一一
以十箇除一箇得商	一分
以十一箇除一箇得商	九厘〇九〇九〇九〇
以十二箇除一箇得商	八厘三三三三三三三
以十三箇除一箇得商	七厘六九二二三〇七六九二三〇
以十四箇除一箇得商	七厘一四二八五七一四二八五
以十五箇除一箇得商	六厘六六六六六六六
以十六箇除一箇得商	六厘二五
以十七箇除一箇得商	五厘八八二三五二九四一一七六
以十八箇除一箇得商	四厘七〇余一
以十九箇除一箇得商	五厘五五五五
以二十箇除一箇得商	五厘二六三一五七八九四七三六
以二十一箇除一箇得商	八四二一〇余一
以二十二箇除一箇得商	五厘
以二十三箇除一箇得商	四厘七六一九〇
以二十四箇除一箇得商	四厘五余一
以二十五箇除一箇得商	四厘三四七八二六〇八六九五六
以二十六箇除一箇得商	五二一七三九一三〇余一

以二十四除一箇得商	四厘一六六六六
以二十五除一箇得商	四厘
以二十六除一箇得商	三厘八四六一五余一
以二十七除一箇得商	三厘八〇余一
以二十八除一箇得商	三厘五七一四二八五七一四二八
以二十九除一箇得商	五七一四二八五七一四二八
以三十除一箇得商	三厘四四八二七五八六二〇六八
以三十一除一箇得商	九六五五一七二四一三七九三一
以三十二除一箇得商	〇余一
以三十三除一箇得商	三厘一
以三十四除一箇得商	三厘二二五八〇六四五一六一二
以三十五除一箇得商	九〇余一
以三十六除一箇得商	三厘一二五
以三十七除一箇得商	三厘〇余一
以三十八除一箇得商	二厘九四一一七六四七〇五八八
以三十九除一箇得商	二三五歸一
以四十除一箇得商	二厘八五七一四歸一
以四十一除一箇得商	二厘七歸一
以四十二除一箇得商	二厘七〇歸一

四十一除得商	二四三九〇
四十三除得商	二三二五五八一三九五三四八八三七
四十七除得商	〇九三〇
四十九除得商	二一二七六五九五七四四六八〇八五
五十一除得商	一〇六三八二九七八七二三四〇四二
五十三除得商	五五三一九一四八九三六一七〇
五十九除得商	二〇四〇八一六三二六五三〇六一二
六十一除得商	二四四八九七九五九一八三六七三四
六十七除得商	六九三八七七五五一〇
六十九除得商	一八八六七九二四五二八三〇
七十一除得商	一六九四九一五二五四二三七二八八
七十三除得商	一三五五九三二二〇三三八九八三〇
七十九除得商	五〇八四七四五六二七一八五四
八十一除得商	四〇六七七九六六一〇
八十三除得商	一六三九三四四二六二二九五〇八一
八十七除得商	九六七二一三一四七五四〇九八三
八十九除得商	六〇六五五七三七七〇四九一八〇三
九十一除得商	二七八六八八五二四五九〇
九十七除得商	一四九二五三七三三四三二八三五八
九十九除得商	二〇八九五五二二三八八〇五九七〇

七十一除商	一四〇八四五〇七〇四二二五三五二一	
七十三除	〇一二六七六〇五六三三八〇二八一六九	
七十三除商	一三六九八六三〇	
單數	一周數	
三	一	三內減一余羊之得一
七	七	七內減一得六
一十一	二	十一內減一余五除之得二
一十三	六	十三內減六余羊之得六
一十七	一十七	十七內減一得十六
一十九	一十八	十九內減一得十八
二十三	二十二	廿三內減一得廿二
二十九	二十八	廿九內減一得廿八
三十一	一十五	卅一內減一余羊之得十五
三十七	三	卅七內減一余十二除之得三
四十一	五	四十一內減一余八除之得五
四十三	二十一	四十三內減一余羊之得二十一
四十七	四十六	四十七內減一得四十六
四十九	四十二	單殺七与其周六相乘之得四十二

五十三	一十三	五十三	内减一	余四	除之	得十三
五十九	五十八	五十九	内减一	得五十八		
六十一	六十一	六十一	内减一	得六十		
六十七	三十三	六十七	内减一	余羊之	得三十三	
七十一	三十五	七十一	内减一	余羊之	得三十五	
七十三	三十八	七十三	内减一	余九	除之	得八

